

学校法人金沢工業大学 行動計画

女性の個性と能力が十分に発揮できる社会を実現するために、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間 : 令和7年4月1日から令和12年3月31日までの5年間

2. 本学園の課題

- ① 令和7年度より「文理の枠を超えた社会実装型総合大学」への進化に向けて、学部学科改組して学生募集を行っている。今後、文系でも受験しやすい女子の理工系分野への進学を支援し、より多くの女性が技術者として社会で活躍できるよう、女子学生の入学者増加をさらに強化する必要がある。
- ② 女性教職員比率は、前回の目標である25%を達成するまでに増加してきたが、女子学生増を掲げる学園の体制としては女性教職員の比率をさらに上げて充実させる必要がある。
- ③ 令和7年3月に厚生労働省は、令和6年に生まれた赤ちゃんの数（出生数）は、前年より3万7643人少ない72万988人で、9年連続で過去最少を更新したと発表した。学園にとって少子化による学齢(18歳)人口の減少が切実な課題である。

3. 目標と取組内容・実施時期

目標1：より多くの女性技術者の社会進出を支援できるように、さらなる女子学生の入学者獲得を目指すとともに、今後は学園全体の女性教職員の比率を30%に近づける。

<取組内容>

- 令和7年4月～ 文系でも受験しやすく、女子の理工系分野への進学を支援するため導入した新しい入試制度の広報活動を強化する。
- 令和7年4月～ 新規採用者に向けて、事業所内保育園の活用を情報発信する。
- 令和7年4月～ 出産、育児にかかる休業等の制度をわかりやすく周知し、各制度を利用しやすい環境の整備を推進する。

目標2：育児世代の女性教職員の状況を把握し、個々の状況に応じた柔軟な体制での育児と仕事の両立を支援する。その上で、女性教職員がキャリアアップを考えられる職場環境を整え、管理職における女性割合を25%に近づける。

<取組内容>

- 令和7年10月～ 育児世代の女性教職員と面談等を行い、現状を把握する。
- 令和8年4月～ 育児と仕事の両立が困難な状況があれば、対応策を講じる。
- 令和8年4月～ 学園の信条の一つでもある「自己実現」に向け、自らが目標を持ち、高い目標に挑戦できるよう、自己成長に向けての研修会やセミナーへの参加を支援する。